

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	工業簿記1（Industrial Bookkeeping 1） 392084-14600					担当教員	中村 大輔 （ナカムラ ダイスケ）		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	2年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL / 資格対応科目								

① 授業のねらい・概要									
1年次配当の簿記入門では商品売買業における基本的な簿記を学んだ。工業簿記では製造業における簿記を学ぶ。本講義は日商簿記検定2級における工業簿記の範囲の中でも個別原価計算から単純総合原価計算までを学ぶ。日商簿記2級対応科目である。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力を養う。									
③ 授業の進め方・指示事項									
授業時間が限られているため、予習・復習が特に重要となる。検定試験合格のためにも、予習・復習を欠かさないこと。授業前に配布するレジュメファイルを各自印刷し、予習すること。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
工業簿記2、商業簿記1・2と共に履修することが必要である。これらの科目とともに学ぶ事で製造業を含めた簿記を体系的に理解できるようになる。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 個別原価計算、部門別個別原価計算を理解し、検定試験レベルの問題を解くことができる。 (ii) 単純総合原価計算を理解し、検定試験レベルの問題を解くことができる。 (iii)									
⑥ テキスト（教科書）									
滝澤ななみ(2018)『簿記の教科書 日商2級 工業簿記（第5版）』TAC出版 滝澤ななみ(2019)『簿記の問題集 日商2級 工業簿記（第8版）』TAC出版 (いずれも改定版が出版された場合は最新版を使用する)									
⑦ 参考図書・指定図書									
各年度に対応した過去問題集、予想問題集等。必要に応じて紹介する。									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	80%	20%						100%
(i) 個別原価計算、部門別個別原価計算を理解し、検定試験レベルの問題を解くことができる。	40%	10%						50%
(ii) 単純総合原価計算を理解し、検定試験レベルの問題を解くことができる。	40%	10%						50%
(iii)								
フィードバックの方法	授業中の小テストは採点して返却・解説する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
早い段階から検定レベルの問題に触れるようにして、早期の合格を目指す授業にしたい。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	ガイダンス、工業簿記の基礎	教科書、問題集、レジュメ、電卓	教科書を読み工業簿記の全体像、および原価の分類について理解しておく。	60分
2	工業簿記一巡	教科書、問題集、レジュメ、電卓	教科書を読み、特に「工業簿記における勘定の流れ」を確実に理解しておく。	60分
3	材料費会計（実際原価）	教科書、問題集、レジュメ、電卓	教科書を読みレジュメを完成させる。特に材料の消費単価の決定方法をよく理解しておくこと。	60分
4	材料費会計（予定原価）	教科書、問題集、レジュメ、電卓	教科書を読みレジュメを完成させる。特に差異の把握と有利不利の判定を理解しておく。	60分
5	労務費会計（実際原価）	教科書、問題集、レジュメ、電卓	教科書を読みレジュメを完成させる。賃金の前月・当月未払と当月支払額の関係から消費額を求める方法を理解しておく。	60分

6	労務費会計（予定原価）	教科書、問題集、レジュメ、電卓	教科書を読みレジュメを完成させる。実際原価の計算方法を復習し、予定消費額との差異の把握を理解しておく。	60分
7	経費会計	教科書、問題集、レジュメ、電卓	教科書を読みレジュメを完成させる。経費の分類と消費額のことをよく理解しておくこと。	60分
8	製造間接費会計（実際原価）	教科書、問題集、レジュメ、電卓	教科書を読みレジュメを完成させる。製造間接費の配賦方法（配賦率・配賦額の計算）を理解しておく。	60分
9	製造間接費会計（予定原価）	教科書、問題集、レジュメ、電卓	教科書を読みレジュメを完成させる。教科書 pp.308-310 を読んで製造間接費の差異分析を概観しておく。	60分
10	個別原価計算（原価計算表・勘定の作成）	教科書、問題集、レジュメ、電卓	第9回までの内容を復習し、教科書の個別原価計算の基本問題が解けるようにしておく。	60分
11	個別原価計算（問題演習）	教科書、問題集、レジュメ、電卓	問題集の費目別計算、個別原価計算の問題が解けるようにしておく。	60分
12	部門別計算（直接配賦法）	教科書、問題集、レジュメ、電卓	教科書を読みレジュメを完成させる。部門別配賦表だけではなく勘定連絡を理解しておく（仕訳もできるように）。	60分
13	部門別計算（相互配賦法）	教科書、問題集、レジュメ、電卓	教科書を読みレジュメを完成させる。直接配賦法と（2級範囲の）相互配賦法の違い、製造部門費の予定配賦を勘定連絡とともに押さえておく。	60分
14	総合原価計算とは	教科書、問題集、レジュメ、電卓	教科書を読みレジュメを完成させる。単純総合原価計算について全体像を掴んでおく	60分
15	単純総合原価計算	教科書、問題集、レジュメ、電卓	教科書の単純総合原価計算の基本問題が解けるようにしておく。なお、問題集の問題を解くためにはの仕損・減損の内容が不可欠である。	60分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。適宜小テストや課題等を行い、その解説を行うことで知識の定

着を図る。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性